

**第5回北杜市総合計画審議会  
会 議 録**

**北杜市企画部企画課**



## 第5回北杜市総合計画審議会 会議録

1. 会議名：第5回北杜市総合計画審議会
2. 開催日時：平成28年8月8日（月）午後1時30分～3時15分
3. 開催場所：北杜市役所 北館3階大会議室
4. 会議次第：
  - (1) 開会
  - (2) 会長あいさつ
  - (3) 審議
    - ①第2次北杜市総合計画基本構想（案）について
    - ②第2次北杜市総合計画基本構想答申（案）について
    - ③第2次北杜市総合計画前期基本計画（案）について
    - ④その他
  - (4) 閉会
5. 出席者
  - (1) 出席委員  
秋山九一、栗澤和江、菊見美房、齊藤けさ子、坂本榮富、櫻井八州彦、清水真理子、清水美佐、鈴木今朝和、高見澤肇、茅野光一郎、入戸野一明、日向三郎、日向勝、溝口暁美、矢野望
  - (2) 欠席委員  
萩原佳蓮（※）、小川昭二、輿水順彦、馬場君忠、日野水丈士、船木良、宮澤陽子、山田輝夫  
（※）甲陵高等学校 岩間勇樹 委員の学業専念により、萩原佳蓮氏が平成28年8月1日付で審議会委員に委嘱。
  - (3) 事務局  
菊原企画部長、小松企画課長、輿水企画課長補佐、企画担当 白倉、城戸
  - (4) 北杜市  
教育長、企画部長、総務部長、市民部長、福祉部長、生活環境部長、産業観光部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長、会計管理者、須玉総合支所長、高根総合支所長、長坂総合支所長、大泉総合支所長、小淵沢総合支所長、白州総合支所長、産業観光部次長、政策秘書課長、財政課長、

6. 公開・非公開の別：公開
7. 傍聴人の数：1名
8. 議事録署名人：清水美佐、鈴木今朝和

## 会 議

### 1. 開会

(事務局 小松企画課長)

本日、会長である舩木良氏が急遽欠席となった。北杜市総合計画審議会条例第 6 条の規定により、副会長がその職務を代行することとなるので、よろしくお願ひしたい。

### 2. 副会長あいさつ

### 3. 副市長あいさつ

### 4. 議事

これより、北杜市総合計画審議会条例第 7 条、および第 6 条の規定により、副会長が議長となり次の通り議事を進行する。

#### ■①第 2 次北杜市総合計画基本構想（案）について

事務局より、「第 2 次北杜市総合計画基本構想（案）」について、資料 1、資料 2、資料 3 により、審議会、地域委員会、パブリックコメントでの意見に基づく変更箇所などに関して説明がなされた。

#### 【副会長】

事務局案について意見はあるか。

#### 【委員】

北杜市は財政が厳しいということで、市民にも痛みを伴う施策を展開してきた。しかし、本当にそれほど財政状況が厳しいのか、疑問がある。平成 26 年度の決算状況を見ると、財政健全化を判断する比率である将来負担比率は 26.9%であるが、甲府市は 66%、ほかの市町村では 100%を超えているところもある。確かに以前は財政が厳しい状況であったが、急速に改善していると言えるのではないか。実質単年度収支でみても、直近の平成 26 年度は

15 億円の黒字となっており、県内市町村で一番大きい黒字額である。一方、借金に関して、市民一人当たりの市債残高が多いというが、普通会計の比率からみると、それほど極端に悪いわけでもないのではないかと感じている。それなのに、補助金の削減や学校・公共施設の統廃合など、市民に痛みを伴う施策を本当にこのまま続けるのか。個人的には第 1 次総合計画の期間でも、財政健全化を進めすぎたのではないかと感じている。少子高齢化の問題については、他の市町村も同じ状況であり、北杜市よりも財政が厳しい市町村もあるが、それぞれ努力している。北杜市は高齢化率が高い一方で扶助費はダントツに少なく、民生費も低い。無駄を排除し、財政の健全化を図ることは確かに必要であるが、住民に痛みを与えてまで行う必要があるのか。

#### 【委員】

今の意見に関しては、逆の危機意識を持っている。基本構想（案）の P11 には平成 27 年度の決算額、28 年度の予算額が記載されている。この 2 年度を比較してみると、平成 28 年度から徐々に縮減される地方交付税が大きく減少しており、その分は地方債で賄っていることがわかる。このままいけば高齢化率が 50%を超えるという話があったが、今後、社会保障費がどんどん増加するまちなになる。市民に痛みを求めず、従来通りに進めていくと市はどうなるのか、非常に心配している。P10 の市民一人当たりの市債残高をみると北杜市が突出している。主な要因は簡易水道と下水道であるが、人口減少、少子高齢化の進展で、今後水道使用料の収入は減少していく。簡易水道事業は独立採算に移行するが、一般財源から繰り入れないと運営はできないのではないかと感じている。これからの水道をどうするかを考えると、ある程度の痛みは受け入れないと行かない。極端なことを言えば、本当に人口が減少している地域は、水道を整備できなくなる、あるいは浄化槽への切り替えも考えなければならぬかもしれない。

#### 【副市長】

平成 13 年以降、市町村合併が進められてきた背景には、当時から人口減少と少子高齢化が今後の課題として叫ばれていたことがある。合併後 10 年間に行政のスリム化、具体的には、財政の健全化や公共施設の削減、職員・議員定数の見直しなどを進めることとなっていた。本市では合併特例債や地方交付税などを活用しながら、財政の健全化を一丁目一番地として取り組んできた。今後、人口減少や少子高齢化がさらに進展する中で、就労者の減少により税収減が進む一方、高齢化に伴い社会保障費は増加していく。本市は公共施設数も多いが、維持管理費を考慮したうえで本当に必要なかを考える必要がある。本市の課題は人口構成のバランスの悪さである。委員の指摘の通り、今後、上下水道などについて資金がなく整備できないケースも考えられる。しかし一方で、老朽化への対応や下水道処理場など必要な整備はしていかなければならない。そのため、第 2 次総合計画においても、将来への備えに対応していくということが、財政に関する基本的な考え方となる。

**【委員】**

将来負担比率には特別会計の負債は入っているのか。

**【事務局】**

将来負担比率には特別会計にも含まれている。市債の残高について、北杜市は他市町村と比べてそれほど悪くないのではないかという意見があったが、P10 のグラフの通り特別会計を含めた市民一人当たりの市債残高は、依然高い水準にあることが本市の特徴である。

**【副会長】**

ほかに意見はあるか。事務局案に対して承認でよければ拍手をお願いしたい。

**【委員一同】**

(拍手)

**【副会長】**

「第2次北杜市総合計画基本構想(案)」について、承認された。

**■②第2次北杜市総合計画基本構想答申(案)について**

事務局より、「第2次北杜市総合計画基本構想答申(案)」について、資料4に基づき説明がなされた。

**【副会長】**

事務局案について意見はあるか。承認でよければ拍手をお願いしたい。

**【委員一同】**

(拍手)

**【副会長】**

賛成多数ということで、(案)を取り、答申書とする。本日準備が整い次第、市長に答申したい。ここで10分間休憩をとる。その後、市長に対して答申を行う。

休憩に入る

市長が会議室に到着

**【答申】**

秋山副会長が答申書を朗読し、市長に手渡す。

## 【市長】

新しい時代の新しいふるさをつくろうと北杜市が誕生して12年目になる。職員とともに北杜市の礎をつくろうと全力で頑張っているところである。本日、第2次北杜市総合計画基本構想の答申をいただき、ありがとうございます。

北杜市総合計画は、市の最上位計画である。昨年度より本日まで審議会で精力的に慎重審議をいただいたことに感謝したい。市民アンケートや企業・団体へのヒアリング、高校生や子育て世代へのインタビューなどを実施し、多くの市民から第一次総合計画の検証や、市の将来に向けての夢や思いについて意見をいただいた。これらの結果から第1次総合計画に掲げた将来像、基本理念について、その方向性を踏襲するとともに、新たな行政課題である人口減少や少子高齢化、生活環境のグローバル化や循環型社会への移行など、行政を取り巻く社会・経済環境の変化に対応すべく基本構想案を取りまとめた。これまで審議いただいた意見やパブリックコメントなど、皆様から頂いた意見は真摯に受け止め、「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」の実現に向けたまちづくりを進めていきたい。

## ■③第2次北杜市総合計画基本計画（案）について

事務局より、「第2次北杜市総合計画基本計画（案）」について、資料5に基づき説明がなされた。

## 【副会長】

事務局案に対して何か意見はあるか。

## 【委員】

『北の杜フードバレーの推進』とはどういうことか。

## 【事務局】

北杜市の農業の特徴は、米や野菜などの農産物から畜産物まで、何でも揃うことである。また、市内には、集落営農組織や新規就農者、農業生産法人など人・モノ・金、そして技術が集積している。このような現状を活かし、今後、農業に関わる人を育て、技術を伸ばし、農業の基盤を守っていこうという取り組みである。なお、「フードバレー」は「シリコンバレー」をイメージしてネーミングしている。

## 【委員】

南アルプスユネスコエコパークに関して、主要施策としては「環境」分野（「自然保護及び環境美化の推進」～『南アルプスユネスコエコパークの保全と活用』）に入っているが、「観光の振興」にも入れてほしい。

#### 【事務局】

南アルプスユネスコエコパークは、環境分野、観光分野の双方に関わる。位置付けをどうするか、文言として「観光の振興」にも盛り込んでいくかどうか、今後参考にさせていただく。

#### 【委員】

「自然保護及び環境美化の推進」の主要施策に『ごみの不法投棄対策の強化』とあるが、すでにごみの不法投棄が多い状況なので、その撤去も進めていく、という認識でよいか。

#### 【事務局】

ごみの不法投棄については、県や警察と協力・連携しながら取り組んでいく。

#### 【委員】

北杜市は素晴らしいまちである。しかし、すべてが良いばかりではなく、問題点もある。「健康づくりと医療の充実」のなかに『地域医療の充実』とある。国の方針は、住み慣れた地域・自宅で最期を迎えることを前提に、今後、病床数を減らし、在宅看護・介護を推進することである。長野県では地域医療に力を入れて取り組んでいるが、北杜市でも同じようにできるかといえば、難しい。それは、医師や看護師の数が足りないからである。このままでは、医療・介護難民が出てくるのではないか。どうするべきか、真剣に考える時期に来ているのではないか。

#### 【市長】

北杜市の課題は、人口構成のバランスの悪さである。国も地方創生を内政の柱として、人口減少をどう克服するかが、最大のテーマとなっている。委員のご指摘は北杜市の課題として真剣に考えるべきであると思う。

#### 【委員】

将来的に医療・介護難民が出るかもしれないとの話があった。北杜市は 2 つの市立病院があるが、開業医も多いので、彼らと連携するなど、市全体での支援体制を総合的に考えて進めてほしい。

#### 【委員】

明野地区では塩川病院や北杜診療所などが地域医療に非常に力を入れている。しかし、地域包括支援センターや保健師などと連携が取れていないという問題がある。行政が音頭をとり開業医、民生委員などと連携すれば、きめ細かい医療・介護ができるのではないか。



**【事務局】**

国の方針として、病床数を減らしていくことは事実である。地域医療の連携については、地域ケアシステムの構築に基づき、在宅での看取り体制を進めることとしている、それには委員の指摘の通り、地域包括支援センターや開業医等の協力が必要であり、また、システムを作るための協議を進めていく必要がある。総合計画にも、そのような文言を盛り込んでいく。

**【委員】**

高齢者の免許証返納が増えていくと思われるが、今後、ますます市内を自由に移動できるような公共交通の整備、足の確保が重要となるとと思われる。計画のどこかに入れるべきではないか。

**【事務局】**

「交通環境の整備」に『公共交通の整備』として掲げている。現状では市民バスを中心に市民の足の確保に努めているが、それだけでは限界がある。次の計画では、新たな地域公共交通の整備を検討する方針である。

**【委員】**

「交通環境の整備」のなかに『道路除雪体制の整備』はあるが、『中部横断道の早期開通』についても、追加してほしい。

**【事務局】**

中部横断道に関しては、国や県、長野県などとともに、早期開通実現に向けて要望、陳情を進めている。なお、計画の中では、『広域幹線道路整備の促進』のなかで、文言として盛り込んでいきたい。

**■④その他**

**【事務局】**

今後のスケジュールについて、今回は8月24日（水）の午前9時30分から、前期基本計画に関する審議を行う予定である。また、それ以降は9月26日（月）、10月3日（月）、10月12日（水）を予定している。審議の進捗状況により、回数は増減する可能性がある。

5. 閉会

以 上

署名委員

---

署名委員

---